

各対策の課題と適用場面

手 法	物理的防除				化学的防除	侵入防止策
	建設機械・作業船など大型機械	ジェット水流	人力による手刈り	遮光シート	移行性の高い除草剤	断片等の拡散対策
想定する実施主体	国・県・市町村（事業）	多面的機能支払交付団体、土地改良区など	生産者、多面的機能支払交付金団体など	多面的機能支払交付団体、土地改良区など	生産者、多面的機能支払交付金団体など	生産者、多面的機能支払交付金団体など
利 点	・ 大面積や大規模群落に対応	・ 人力より効率的	・ 細やかな除去 ・ 他手法と組み合わせ効果大	・ 水位変動や高水位に対応 ・ 設置労力のみ	・ 労力小 ・ 農地で一般的 ・ 回収不要	・ 再侵入防止 ・ 未侵入地で効果大
課 題	・ コスト高 ・ 除去後の監視 ・ 除去後の処理	・ 水源の確保 ・ 適用場面狭い	・ 作業効率低 ・ 断片の回収	・ 耐久性 ・ 流出防止対策 ・ 面積単価高	・ 水域では不可 ・ 他の動植物等への影響	・ 管理労力が増 ・ 除去後の処理
水源の湖沼・河川	◎	△	○	○	× 登録なし	◎ ダストフェンス
ため池 河川ワンド	○	○	○	○	× 登録なし	◎ ダストフェンス
用・排水路	△ 幹線水路の一部	△ 低水深・低流速	○	○	× 登録なし	◎ ダストフェンス
水田など農地	×	×	△ 回収・処理必要	×	◎	◎ 給水栓のネット
農地周辺（畦畔/農道）	△ 休耕地など	△	×	◎ 畦畔など	◎	◎ 農用機械の洗浄

○：効果的 △：限られた場面で効果 ×：現実的でない

水源である河川管理者との情報共有・連携が重要。

- ・農地サイドで防除・流入防止対策を徹底しても、流域での対策が重要。
- ・群落の駆除・除去は連携して実施するのが望ましい。

関係者相互の情報共有や連携を図る体制構築 の例

（千葉県）ナガエツルノゲイトウ等対策調査内会議（2019～）

県庁内部局間でのナガエツルノゲイトウ等の効果的な駆除方法や環境影響等に係る情報交換

【参加部局】環境生活部自然保護課、環境生活部水質保全課、農林水産部耕地課、

県土整備部河川環境課、中央博物館

（茨城県）新利根川流域におけるミズヒマワリ等除去に係る連絡協議会（2018～）

ミズヒマワリ、オオフサモ、ナガエツルノゲイトウの除去の推進及び再繁茂の防止

【構成員】県と流域4市町および受益地を含む土地改良区 （幹事）県民生活環境部環境政策課

（茨城県）県南地域ナガエツルノゲイトウ等対策連絡会議（2021～）

【構成員】管内14市町村の農業部署、管内7JA、管内55土地改良区理事長、県農林水産部、

県農業総合センター、県南農林事務所 （オブザーバ）県生物多様性センター

本報告の内容は農林水産省委託プロジェクト 「農業生産に被害をもたらす侵略的外来生物の管理技術開発」 （令和元年ー令和5年度）の成果の一部です。

謝 辞

資料や写真をご提供いただいた鈴木広美氏（八千代エンジニアリング）中井克樹氏（滋賀県立琵琶湖博物館）、林紀男氏（千葉県立中央博物館）、丸井英幹氏（エコロジー研究所）、高橋修氏（鹿島川土地改良区）、佐々木亨氏（水資源機構）、伊藤彩乃氏（茨城県自然博物館）、井原希氏（農研機構・植物防疫研究部門）に厚く御礼申し上げます。



← 農研機構が作成した啓発・対策パンフレット
 もご活用ください

（農研機構のHPからダウンロード可能）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/139232.html